

新宮山産ぐるーぷ第2279回

## 持経宿、平治宿の点検・整備と怒田宿跡までの奥駈道巡視

◇実施日 3月10日(日) 小雪後曇

◇参加者 沖崎吉信、湯川一郎、梶野照雄 3名

平治宿小屋の煙突が外れたままになって、ストーブが使えない状態が続いていた。2月中に修理できるかと思っていたが、訪問の機会が無く、本日になってしまった。

午前8時30分、下北山スポーツ公園を出て、池郷林道に向かう。ゲート迄は落石も殆ど無く、スムーズに走行。ゲートから上は落石が度々現れ、その都度車を停めて排除した。



落石を片付ける

雪の残る持経宿

平治宿の煙突修理

1時間10分ほどで持経宿に到着、登山準備をして平治宿に向かう。

気温は0℃、雪は止んだようだが風が少しあり、止まっていると少し寒い。奥駈道にはうっすらと積雪があるが、中又尾根分岐を過ぎると雪は少なくなった。途中で倒木を一本処理し、1時間少々で平治宿に着く。



針金が腐食で切れていた

取り付け完了

本日の参加者

小屋の屋根に上がって煙突の取り付けを行う。煙突を固定していた針金が腐食して切れたのが原因のようだ。今回はアルミ線で固定したが、強度に不安があるので、次回訪問時にステンレス線に取替る予定だ。煙突の取り付けを終え、11時半から早めの昼食を摂る。今日は湯川、梶野の2名が行仙岳までの奥駈道巡視に向かい、沖崎さんが持経宿に戻って白谷トンネルまで迎えに来る段取りとなった。

12時に平治宿を出て転法輪岳を目指す。登りが続くので暑いときはしんどいが、気温が低いので休まず歩いて30分で山頂に着いた。転法輪岳と俱利伽羅岳の間で倒木を処理。捲き道がある所は分かれ

て、奥駈道と捲き道の両方を確認した。

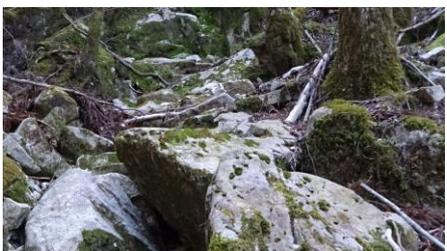


転法輪岳まで30分

俱利伽羅岳に着く

釈迦ヶ岳と孔雀岳

俱利伽羅岳に着きしばらく休む。北方に釈迦ヶ岳と孔雀岳がきれいに見える。「この辺は目印のテープやマークが少ない」と2人で話していたが、この後道を外して違う尾根に入り込み、50mほど下ってしまった。湯川君が気付き登り返して30分をロスした。以前もこの辺りでショートカットしようと思っただけで下りすぎたことがあったので、逆峰の場合間違いやすい場所と言え。奥駈道に復帰してからは順調に歩き続けたが、予定していた時刻を30分以上過ぎていた。このままでは下山が午後5時近くになりそうだ。怒田宿跡前で、先行していた湯川君に声をかけ、怒田の水場から白谷トンネル西口へ降りようと提案、沖崎さんに無線で連絡し、車を白谷トンネル西口へ回してもらった。以前付けたテープや小さなケルンに助けられ、45分で白谷トンネル西口に着いた。午後4時少し前だった。



怒田の水場分岐から

水場を経て

白谷トンネル西口へ

今回は行きも帰りもサンギリ林道を通ってきたが、通行止めの看板があるものの「4tを超える車両」と但し書きがあり、普通車の通行に制限は設けられていなかった。林道はきれいに掃除されていて、道幅が狭いこととカーブが多い事以外は走りやすい道だった。上北山村の河合から下北山スポーツ公園まではR169で20分ほど。サンギリ林道経由だと1時間10分かかる。R169の早い復旧を願うばかりだ。(記：梶野)

### 行動タイム

下北山スポーツ公園 08:30→09:45 持経宿 09:53→11:05 平治宿 11:55→12:25 転法輪岳 13:05 俱利伽羅岳 15:10 怒田の水場分岐 15:55 白谷トンネル西口 16:25 下北山スポーツ公園